



クリスマス・ロビー・コンサート

独奏に始まり、続いて二重奏、そして、ご来場者の方々も参加し、クリスマスの歌を合唱した。会館の方々の多大なご協力をいただき、会が盛り上がり、とても充実したコンサートとなった。出演者それぞれが満足のいく演奏で、客席からは「上手いなあ」という声が聞かれた。最後にベートーヴェンの「第9」より「歓喜の歌」を歌い、今年1年を感謝と喜びで締めくくった。プログラムは次の通り。

兼田 勉／前奏曲第3番（ヴィラ＝ロボス）、スペイン舞曲第5番（グラナドス）、福島康守／パッサカリア（ヴァイス）、カナリオス（サンス）、前田義久／エチュードOp.35-13（ソル）、リュートのための6つの小品（作者不詳）、無伴奏チェロ組曲第1番よりプレリュード（バッハ）。兼田 勉 & 福島康守／紫陽花（莉燦馮）、カヴァティーナ（マイヤーズ）、合唱：ギター：伊東修子／クリスマス・ソング（5曲）、アンコールは、アランプラの想い出（タレガ）。（伊東修子）

◆第4回クラシックギター合同発表会

12月11日、高槻市立総合市民交流センターで高槻ギタークラブ（主催）、ギタークラブ「ソレイユ」、「ラグリマ」、西京都ギターカルテットの4グループ合同の「第4回クラシックギター合同発表会」が開催された。第1部の独奏、重奏の部では昨年の発表会を聴きにきてメンバーに入った2名も出演し、落ち着いて〈キンボウゲワルツ〉を演奏していた。高槻ギタークラブのメンバーのうち、6名は加入後1年未満の方だったが、日頃の練習の成果が発揮できたと思う。二重奏や三重奏も楽しく演奏でき、向日市で活動しているソレイユのメンバーによる三重奏〈スペインの花〉が軽快に演奏さ



第35回クラシックギター合同演奏会&発表会

れ第1部が終了した。高槻ギタークラブの合奏曲〈アリオソ〉と〈カノン〉も大きな拍手をいただいた。

「ソレイユ」は15周年コンサートの演目であった合奏曲〈サラバンド〉と〈パッサカリア〉を厳かに演奏した。最後に29名全員による〈ベッパ警部〉と〈UFO〉の迫力ある大合奏で第2部を終了した。第3部のゲスト演奏として最初に高槻ギタークラブの指導者である永田参男先生の独奏で〈マズルカ・ト長調〉と〈禁じられた遊び〉が、続いて永田教室の生徒との二重奏〈斬新的な二重奏曲第1番Op.55〉と〈ランクラージュマン〉が演奏され、聴衆を魅了した。

今回は大人の中に混じってアメリカからの15歳の留學生が参加して和やかな雰囲気のもとに開催され、観客の皆さんからの温かいまなざしを感じた発表会であった。

（高槻ギタークラブ 代表 山岡陽子）

11月14日、兵庫県三田市のフラワータウン市民センターにおいて、第35回目となる佐本 博ギターグループによる、クラシックギター合同演奏会と発表会が行なわれた。プログラムは、今北克弥／アンダンティーノ（カルカッシ）、石橋貴行／四季の歌（荒木とよひさ）、山田由紀／月光（ソル）、田畑 泉／タンゴ（タレガ）、竹武信二／ラリアーネ祭（モツァーニ）、篠原康伸／マリアルイサ（サグレラス）、戸田恭敬／ロマンス（パガニーニ）、前坂有里／アラビア風綺想曲（タレガ）、大橋英子／マルボローの主題による変奏曲（ソル）、川久保善竹／ショーロ第1番（ヴィラ＝ロボス）、澤田繁一／セビーリヤ（アルベニス）、武川廣次／吟遊詩人の調べより（メルツ）、安松太郎／アコンキーハ（バリオス）、倉鋪幸典／スペイン風セレナータ（マラッツ）、田中靖剛／アランプラの想い出（タレガ）、井上成人／エチュード第7番（ヴィラ＝ロボス）。これに加えて、ゆりのきギタークラブによる〈アイネ・クライネ・ナハトムジーク〉他の演奏があった。佐本 博ギターグループには、現在ギター指導をしている田中靖剛、ギターコンクール入賞者の井上成人、ゆりのきギタークラブでコンサートマスター

中国

◆第35回クラシックギター合同演奏会 & 発表会



第4回クラシックギター合同発表会